



『オレンジ』隊長

軍神利喜男
保健体育課長

「オレンジ」は、子どもたちの「命」を守るために結成しました。この結成にあたり、多くの関係諸機関、団体等にご支援・ご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

子どもたちが親しみやすいように「オレンジ」の名称をつけ、保護者や地域の皆様と一緒にあって子どもたちを守っていきたいと思います。市民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。



枕崎警察署
生活安全
刑事課長代理
丸山修 警部補

水と安全はタダというのは、昔の話。地域が連携し「自分たちのまちは自分たちで守る」という意識を持つことが必要であり、住民の人間関係や連帯が強い地域ほど、犯罪の発生が少なくなっています。

防犯パトロール隊「オレンジ」は、主に学校のスクールゾーンでの防犯パトロールを行うということですが、それは単に子どもを守るためだけでなく、パトロールをする姿を見せたり、互いに声をかけ合うことにより、地域全体のコミュニティが高まり、犯罪者を寄せ付けないまちづくりにつながると思います。オレンジの活躍を期待します。



別府小学校「おやじの会」

青色防犯パトロール隊『オレンジ』
このパトロール隊は、帽子的な色から通称『オレンジ』と名付けられました。隊員は、実施証明を受けた市教育委員会職員など23名。枕崎警察署や枕崎郵便局と連携して活動し、九州運輸局長から保安基準緩和の認定を受けた青色回転灯を付けた車9台で、主に児童・生徒の下校時間に合わせ見回りをを行います。

また、枕崎郵便局にも協力をいただき、郵便車両バイクに、「防犯パトロール中」のステッカーを貼付して市内を巡回することで、防犯意識の高い地域をアピールしていきます。結成に当たっては、枕崎ライオンズクラブ、枕崎ロータリークラブ、鹿児島歌友会枕崎支部、枕崎やわら会から、次のとおり防犯用品を贈呈していただきました。



出発の様子

- 鹿児島歌友会枕崎支部 防犯帽子47個
 - 枕崎やわら会 防犯パトロールマグネットシート20枚
- このように、『オレンジ』は多くの団体や地域のご支援・ご協力により結成された防犯パトロール隊です。
- 子どもたちを守るためにできること**
今年2月、子どもたちの安全は住民の手でと、別府小学校の保護者でつくる「おやじの会」が『青パト隊』を結成しています。（広報まぐらざき3月号「まちの話題」に掲載）また、地域の自主防犯組織

の活動など、市内では子どもたちを守るために、自分たちでできることを考え、行動しようという取り組みが広がっています。これは、少子化が進む中、地域の宝である子どもたちを守ることは、親や地域を含めた社会全体の責任であるという意志の表れといえます。『オレンジ』への加入者や加入団体が増え、その取り組みが市内全体に広がることで、子どもだけでなく、高齢者など社会的弱者、ひいては市民の皆さんにとっても住みよいまちが実現するのではないのでしょうか。



特集 この子供たちを守るために

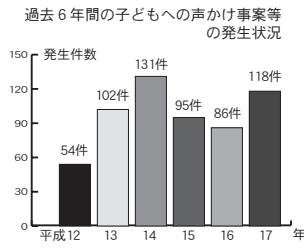


青色防犯パトロール隊『オレンジ』の取り組み

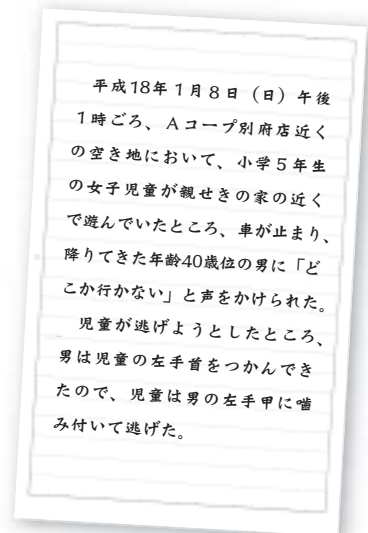
近年、全国で子どもたちが犠牲となる犯罪が多発しています。市教育委員会では、青色防犯パトロール隊『オレンジ』を結成し、子どもたちの安全を確保するため取り組みを始めました。

子どもの安全が脅かされている

右の不審者による子どもに対する声かけ事案は、実際に枕崎市内で発生したものです。同月、妙見町でも小学2年生の女子児童に対する声かけ事案が発生しています。



このように、子どもたちの回りには、次第に不安が多くなっています。こうした状況を受け、市教育委員会は3月28日、青色防犯パトロール隊『オレンジ』を充足させました。



年間の子どもの声かけ事案等の発生状況（上図）をみると、県内の声かけ事案は、平成13年から急増し、14年には12年の2倍以上に増加。15年からは減少傾向でしたが、17年には再び増加しています。発生時間（平成17年）は、午前7時から8時台が18件で全体の15.3割、下校時間帯の午後3時台から5時台が76件で全体の64.4割を占めており、児童・生徒の登下校時間帯が狙われています。